

安城市内景況調査結果 (平成29年1月～3月)

＜ 来期も今期同様に依然厳しい状態が続いていく見通し ＞

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 103企業

2. 調査対象時期 平成29年1～3月期

(1)前年同期(平成28年1～3月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成29年4～6月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	22	32	14	35	103
構成比	21.4%	31.1%	13.6%	33.9%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△0.1ポイントとなった。全産業において借入難度DIは上昇判断となった。来期については今期以上に厳しい状態が予測される。特に業況判断については大幅な下降となる見通しである。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△5.0	△4.9	△13.6
売上高	△5.0	△14.5	△11.7
売上単価	△12.7	△10.7	△10.7
資金繰り	△5.9	△2.9	△7.7
借入難度	5.9	5.8	3.9
収益状況	△4.9	△3.9	△10.7
雇用人員	△29.3	△38.8	△36.0

凡例▶

30以上 10超える 10～△10 △10超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△4.9		△4.6		△15.6		7.1		0.0	
	売 上 高	△14.5		△18.2		△31.3		0.0		△2.9	
	売 上 単 価	△10.7		△9.0		△31.3		0.0		2.9	
	資 金 繰 り	△2.9		22.8		△18.7		0.0		△5.6	
	借 入 難 度	5.8		31.8		△6.3		0.0		2.9	
	収 益 状 況	△3.9		△4.6		△6.2		14.4		△8.6	
	雇 用 人 員	△38.8		△36.4		△37.5		△42.9		△40.0	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△13.6		△27.3		△21.9		△28.6		8.6	
	売 上 高	△11.7		△18.2		△12.5		△28.6		1.0	
	売 上 単 価	△10.7		△18.2		△25.1		7.1		0.0	
	資 金 繰 り	△7.7		△13.6		△3.1		△7.2		△8.5	
	借 入 難 度	3.9		9.0		△3.1		14.3		2.9	
	収 益 状 況	△10.7		△18.2		△6.2		△14.3		△8.5	
	雇 用 人 員	△36.0		△36.4		△28.2		△42.9		△40.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。